

桜町地区第3回まちづくり勉強会 記録

| | | |
|-----|--|------------------------|
| 日 時 | 平成31年2月9日（土） 10時～12時 | |
| 場 所 | 桜町3丁目自治会館 1階 | |
| 出 席 | 18名 | |
| 議 題 | 1. 第2回勉強会の振り返り 2. 道路ネットワーク（検討案） | 3. グループ別検討 4. 今後の予定 |
| 質 疑 | <p>【前半】</p> <p>会 員：前回の班別検討にて、C班で、水道局の敷地に避難場所としての公園指定できないかという意見と、防災課の職員を呼んで欲しいという意見が挙がったが、その点はどうなったか。</p> <p>市：本日、防災課の職員は呼んでいないため、質問等が挙がった場合は一度持ち帰り担当課に確認する方針とさせていただきたい。</p> <p>会 員：前回挙がった意見については、取り上げていただいているという認識でよろしいか。</p> <p>市：そのように認識いただいて良い。本日は、まずは道路の話をしていただき、その後で、公園等についても検討していただけると良い。</p> <p>会 員：道路ネットワークの検討案について、水害が考慮されていない。その部分が解決できていない状況で、本当に道路を整備できるのか。</p> <p>市：整備できるように進めたいと考えている。</p> <p>会 員：桜町小学校は低地であるため、避難路を確保したところで浸水の可能性がある。誰も避難しないのでは。</p> <p>市：各班の中でその辺りの検討もさせていただきたい。</p> <p>【後半】</p> <p>会 員：庁内のネットワークづくりという視点でも、次回は防災課の職員の方に出席いただきたい。</p> <p>会 員：勉強会は今回が最後で、次回からは協議会で検討していくという認識で良いか。その場合、検討体の性格が大きく変わるかと思うが、どのようなイメージか。</p> <p>市：協議会にも、勉強会の延長線上で進めるものと、事務局において総会などを行うものがあるが、現在想定しているのは前者である。</p> <p>会 員：「まちづくり」を掲げているため、道路以外にも、広い範囲のまちづくりについて検討するものと思っていたが、話を聞くと、道路に特化した内容になるのでは。市の総合計画と本事業はどのように結びついているのか。また、桜町3丁目集会所に関して、以前は2階を利用していたが、雨漏りにより利用できなくなった。雨漏りの修繕もされていない。地域の利便性を高めることがまちづくりの基本で</p> | |

あるため、身近な内容も取り上げて、市民が利用しやすいまちになっていくべきではないかと考える。そういった広い範囲のまちづくりについて検討したい。

市：第5次総合計画は、様々な枝葉に分かれており、本事業は基盤整備の部分に当たる。都市整備部は道路等の基盤整備をメインとしている部署であるため、細かなまちづくりまで整備計画に落とし込むことは難しい。基盤整備以外のソフト的な事業も含めたまちづくりという話になると、他の所管部局が扱う内容にもなる。

会 員：第1回勉強会の際に、他の関係部署の職員にも出席していただきたい、という意見を挙げた。「道路づくり」ではなく、「まちづくり」と謳っている以上は、地区全体の様々な内容を扱うべきである。

市：ここで扱う内容はあくまで、都市基盤整備としてのまちづくりである。

会 員：最初の勉強会ではまちづくりの話もしていたが、ある時点から道路の検討にシフトしてゆき、少しおかしいとは思っていた。協議会で広い範囲のまちづくりについて検討することはできないのか。

市：あくまで基盤整備のまちづくりである。

市：勉強会の初めの頃に説明していたが、勉強会の発端としては、H15年から始めている事業があり、それに対して皆様の意見を伺うためにこのような場を設けた。都市整備管理課としてできることは道路事業になる。ただし雨漏りの話など、道路以外の意見が挙げれば所管部局に対応してもらおうよう伝える。

コンサル：道路を整備するだけの事業とは思っていただきたくない。住宅市街地総合整備事業は、道路整備の他、公園整備や建替え支援など、幅広い内容が含まれる事業である。また、今後まちづくり協議会を設立する中で、市としては道路整備をメインとして考えているが、協議会の場で検討したいテーマがあれば、別途議論する時間を設けていただいても問題ない。

会 員：その辺りの考え方は市と合わせておいていただきたい。

市：考え方は同じである。今の説明は、都市整備管理課としてできることは道路整備であるが、その他のまちづくりについては、関係各課など、所管部局の職員に出席いただくなどそういったことは可能、という意味合いである。

会 員：先ほど挙げた、防災課の職員を呼んでほしい、という意見については、庁内の連携をとっていただきたいという意味合いである。

会 員：協議会にレベルアップするのであれば、縦割りではなく、庁内の横断的な組織（桜町まちづくりグループ等）を結成して、協議会に出席いただくなど検討いただきたい。毎回意見が挙がるたびに、「担当課に確認し、次回お答えする」では時間がかかるため、できれば効率よくその場で意見交換できると良い。

会 員：今後勉強会から協議会にステップアップする際に、どのように変わるイメージか。

市：具体的な内容は今後詰めていくが、今までと同様な形で開催するイメージである。

会 員：職員は、現地を歩いて、地域の状況をしっかり把握できているのか。

市　　：隅々まで把握できているわけではないが、現地を歩いて状況は把握している。

道路ネットワーク（検討案）について

道路整備

- 冠水も、防災のテーマの一つであり、冠水対策についても議論が必要である。
→道路ネットワークの整備を利用して、冠水も改善できる対策を考えればよいのではないか。
- A 路線は、駅へ行くには便利な道路で普段から利用者が多い。この道路の改善を住民が望んでいることは間違いないのではないか。崖と水路に面しており、道路を整備するためには、水路に蓋をかけると良いのではないか。また、道路を整備するならば、県道からの入りやすさを改善してほしい。
- B 路線は、通学路には指定されていないが、放課後には小学生の通り道となる。普段から車はあまり入って来ないため、今後も車が通らないようにしたい。小学生の通学路として、安全な道路としていきたい。
- F 路線は、延焼遮断帯としての意味合いはないかもしれないが、地域住民の避難路となるならば、防災上の効果が大きいといえる。地域住民が避難する道路としては位置付けてはどうか。
- 道路ネットワークについては、今回の検討案は妥当なところではないかと思う。整備の目的が防火対策なのか冠水対策なのか、主眼はどちらにあるのかなど、路線別の整備の目的と優先度を明確にすると、地域の方に説明する際に分かりやすいと思う。

整備効果

- 火災の延焼に対して、有効な道路幅はどれくらいなのか。
→沿道の建物の状況による。道路の拡幅とあわせて沿道の建物を燃えにくくすることにより、延焼を抑止する効果がでる。
- 地震がくれば、道路を拓げても、建物が倒れて道路をふさいでしまう。
→全てが倒壊するわけではなく、特に地震に弱い老朽住宅の建替えを進めていく必要がある。

その他

- 桜町は高齢者が多く住んでいる町で、今も高齢化が進んでいる。高齢者には建替えの余力は少なく、高齢者にとって建替えは考えにくい。市として、地区を指定して建替え助成など提案すべきである。
- 道路計画や建替え支援などを含めて、市による将来の桜町のマスタープランをつくるべきである。
- 周辺住民にとって落合公園が重要なポイントであるならば、公園を中心にして住民が避難できる計画をつくってはどうか。冠水対策として、公園の地下に貯水槽をつくることも考えられる。
- 道路整備を市が主導して進め、一部でも良い道路が実際にできれば、整備への理解も進むのではないか。
- 桜町小学校は避難所として適切なのか。大雨の際は、グラウンドに水が溜まる。
- 小学校には県道側だけでなく、新井宿駅側の門からも入れるが、周知されていない。学校とも連携した防災まちづくりの検討や連絡調整が望まれる。

道路ネットワーク(検討案)

A 路線

- ・駅へ行くには便利な道路
- ・利用者が多い
- ・この道路の改善を住民が望んでいることは間違いない
- ・道路を整備するために水路に蓋をかけると良い

F 路線

- ・避難路としては、防災上の効果が高い
- ・住民が避難する道路としては位置付けてはどうか

・道路を整備するならば県道からの入りやすさを改善してほしい

B 路線

- ・小学生の放課後の通り道となる。車はあまり入って来ない
- ・車が通らないようにしたい
- ・小学生の通学路として、安全な道にしたい

桜町小学校

- ・桜町小学校は避難所として適切か(大雨の際は、グラウンドに水が溜まる)
- ・県道側だけでなく、新井宿駅側の門からも入れるが、周知されていない
- ・学校とも連携した防災まちづくりの検討・連絡調整をのぞむ。

落合公園の活用

- ・この辺りの地域にとって公園が重要なポイントであるならば、公園を中心に、住民が避難できる計画をつくってはどうか
- ・公園の地下に貯水槽をつくる

冠水

- ・この部分に雨が集中する
- ・冠水は部分的には改善されたが、土地が低い場所には水が入り込む
- ・冠水も防災のテーマの一つ
- ・道路ネットワークの整備を利用して、冠水も改善できるとよい

・道路整備の代替地が用意されている

凡例

- 災害時に緊急車両の進入を想定する道路(幅員6m以上)
- 上記道路とともに、避難路と想定する道路、日常の安全性・快適性を向上させる道路(幅員4m程度)
- 災害時に緊急車両が進入できる幅員6m以上の既存道路
- 行き止まり道路
- ***** 狭隘箇所や舗装悪
- 繋がっている道路

火災の延焼について

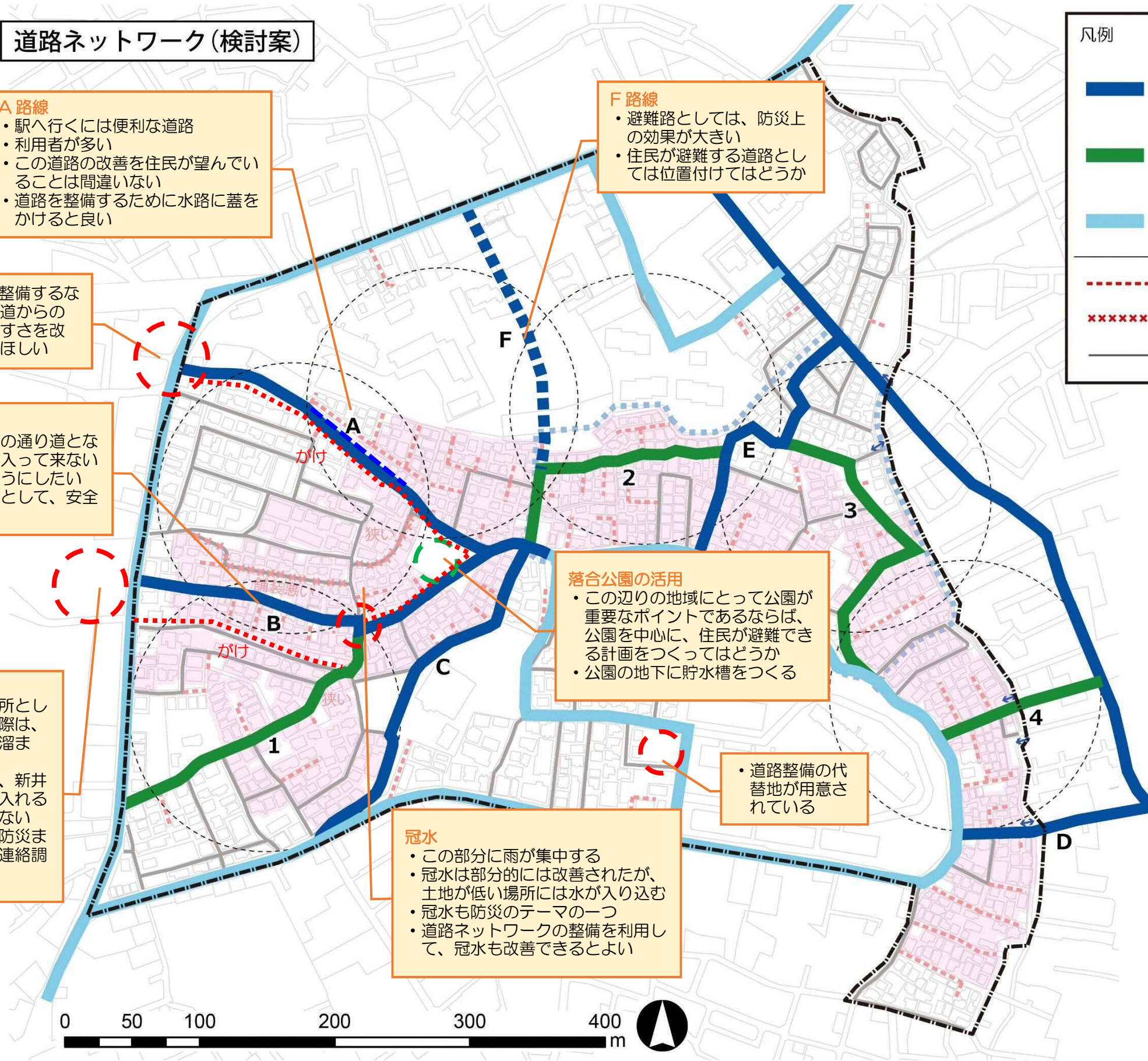
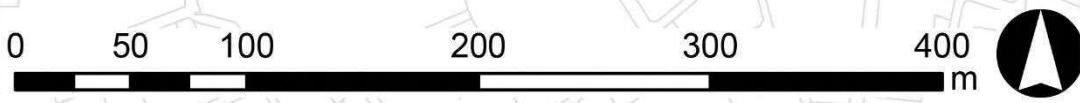
- ・火災の延焼に対して、有効な道路幅はどれくらいなのか?
- 沿道の建物を燃えにくくすることとあわせて延焼を抑止できる

地震による倒壊・道路の閉塞

- ・地震がくれば建物は倒れて道路をふさいでしまう。
- 特に地震に弱い老朽住宅を改善しないとイケない

建替えについて

- ・ここは高齢者が多く住んでいる町
- ・高齢者には建替えの余力はない
- ・これからの建替えの話は高齢者にとって考えにくい
- ・空き地には家が建ってしまう



道路ネットワーク(検討案)について

道路整備

- 道路際まで家が建っている敷地が多く、道路を拓げる場合家を削らなければいけなくなる。側溝に蓋をかけて使える部分を拓げる等、現時点でできることをしたほうがよい。
- 家を後退する場合、建蔽率にひっかかる敷地も出てくると思う。今まで問題なく住んでいたのに、被害を被ってしまうことになる。
- 建替えが必要な場合、費用を全額補償してもらわないと住民には納得してもらえないと思う。
- 道路整備は 50、60 年前から計画しなければいけない。ただし、難しいからと言っても進まないの、少しずつ建替えができるところから拓げていくという長期的な考えでやっていくしかないと思う。

道路ネットワークの考え方

- 高齢者等は、災害時に桜町小学校まで避難することはできない。団地側に避難するための安全な道路の確保という考え方が必要である。

実現性

■建築確認が下りない仕組みづくり

- 道路ギリギリに建物を建てても、建築確認が下りてしまうので意味がない。
- 今後、整備計画と合わせて地区計画の中で、壁面の位置を制限することができる。条例に位置付ければ、それを守らなければ建築確認が下りない仕組みができる。(市)
- 建替えが進んでおり、早急に取り掛かれないと道路はできないと思う。旧アクセス道路のクランク部分も空き地だったが、建築確認が下りて家が建ってしまった。
 - 一番の危惧は、リフォームのみで建替えが無い場合があることである。

■地区内に住み続けられるような移転・再建方法

- 小さな敷地が多く、道路を拓げると家が建たない敷地も出てくる。この地域に住み続けるのであれば、空き家への移転の方向性も選択肢として考えていく必要があるのではないか。
- 空き家で条件の良いところがない。中途半端になっているところが多い。隣の家が建て替えるときに一緒に建替える選択肢はある。

その他

- 火事が起きたときの延焼が怖い。消火器や消火栓があり、なるべく火を出さないように消火訓練も行っているが、木造建物が多いので燃えると早く、消火器や消防車が来ても消火活動が間に合わなくなる。さらに、糸魚川のように、風が吹くととどンドン延焼する
- 原発の問題がなければ、市がお金を出してオール電化にすれば、少しは火災の危険性は減る。

道路ネットワーク(検討案)

A路線

- 今すぐできることとして、水路に蓋をかけて道を拡げてもらいたい。
- ただし、沿道の家屋と道路の間に段差ができるので、その処理の問題がある。



- 本来、もう少し広い道でもよいが、拡がった後、車が通らないようにしたい。
- 道路に傾斜があるので、積雪時は危険。早急に整備してもらいたい。

県道の歩道

- 県道の歩道を至急整備してもらいたい。幅が狭く、子どもが1人通るのが精一杯で、車もスピードを出して危ない。

バス通りとの接続部分

- 見通しが悪く、カーブかつ坂道で危ない。
- C路線の整備の際は、バス通りとの接続部分をスムーズにしたい。
- 歩道に樹があり、通りづらい。歩道はないと困るが1mでも良いと思う。
- 歩道部分を歩道橋のように高架にすれば、いくらか拡げられる。車道ではないので、それほど荷重はかからないと思う。
- 歩道が張り出している部分の処理の問題がある。



A路線のクランク部分

- 狭くなっているクランク部分は、隅切りをすれば大分違う。避難等がスムーズに行く。

- 外周道路は、片側が住宅ではなく、崖地だったので拡げられた。

- C路線
- 片側が緑地なので、拡げることにはできると思う。
 - 部分的に狭いので、一方通行にできると良いが、同意が得られるか課題である。

凡例

- 災害時に緊急車両の進入を想定する道路(幅員6m以上)
- 上記道路とともに、避難路と想定する道路、日常の安全性・快適性を向上させる道路(幅員4m程度)
- 災害時に緊急車両が進入できる幅員6m以上の既存道路
- 行き止まり道路
- xxxxxx 狭隘箇所や舗装悪
- 繋がっている道路

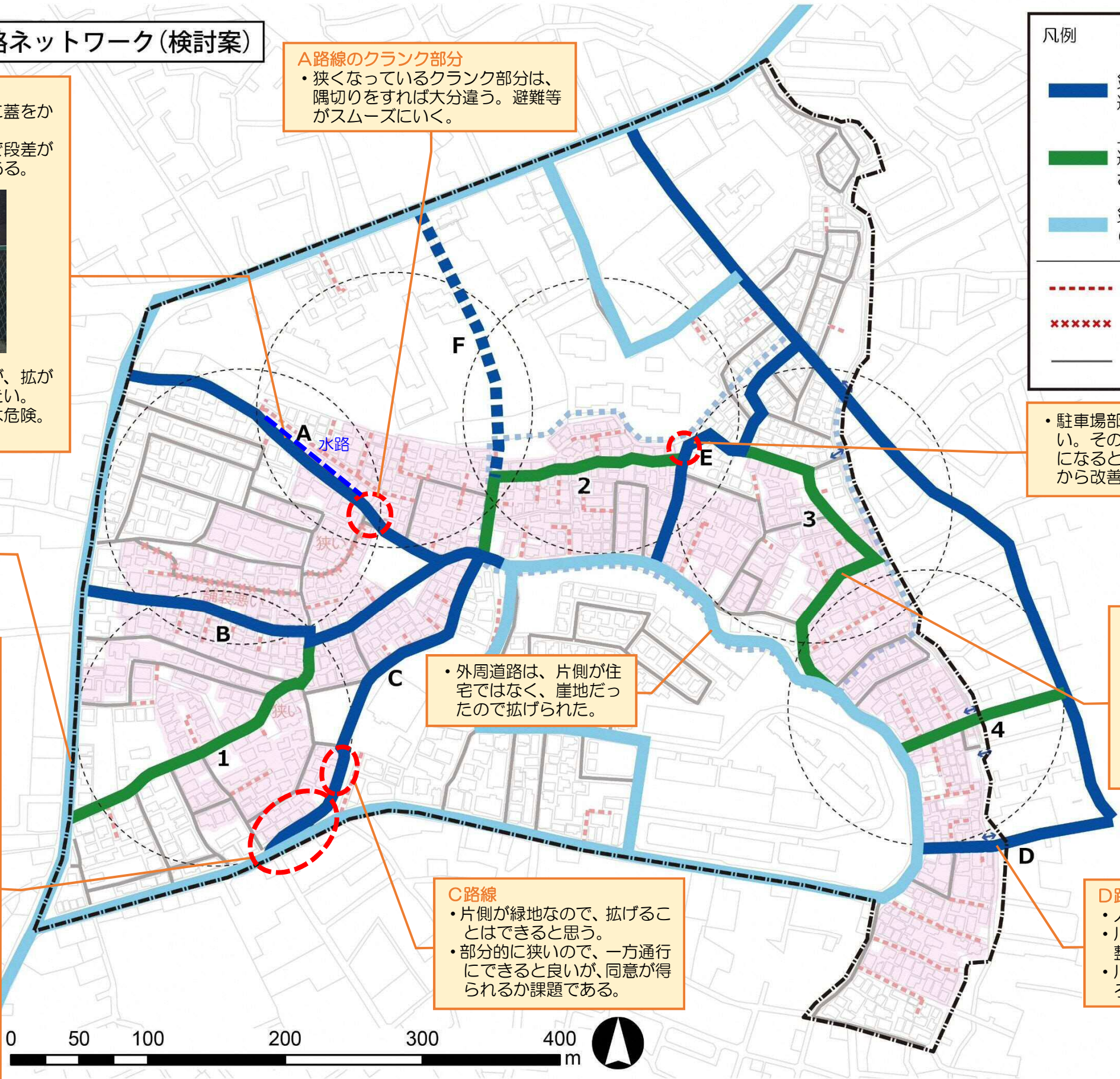
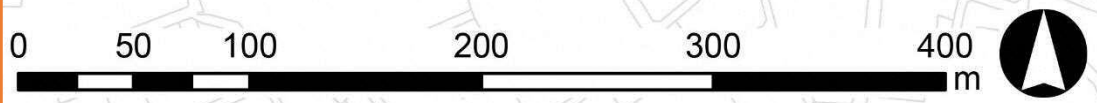
- 駐車場部分が非常に狭いので改善したい。その先がクランクなので鉢合わせになるとバックも危険。できるところから改善してほしい。

3路線

- 側溝の蓋がかかっている部分があり、蓋をすれば広く使える。
- 水が溢れるので側溝も蓋をしてよいのかという問題もある。
- 昔の作りなので排水も満足いくものができず、よく詰まっていた。費用もかかるし時間もかかるが、やらないわけにはいかないと思う。

D路線

- 人や車が良く通る道。
- 川の反対側は駐車場なので、早く整備できるかもしれない。
- 川の手前では、建替えているところもある。



道路ネットワーク(検討案)について

道路整備

- ・権利者の人数が多ければ多いほど道路整備は困難になるため、各路線で何軒の建物がぶつかるのか把握しておく必要がある。
- その辺りはおおよそ把握している。(市)
- ・実現性も考慮して、整備方針をたてる必要がある。
- ABC 路線は沿道権利者が多く、道路を整備することは難しいため、権利者が少ない路線を整備するのが現実的では。
- そういう意味では F 路線は整備しやすいのでは。
- ・路線 1 は、一部セットバックすれば 4m 確保できるため、短期的に実現可能ではないか。
- ・6m 道路については、一気に 6m 道路を整備するのではなく、段階的な整備ができないか。
- まずは 2 項後退、その後地区計画で壁面位置の制限をかけて 6m の空間確保など可能である。

道路整備以外の防災性を高める対策

- ・道路整備以外で延焼を防止する対策が取れると良い。
- 耐火性の高い建物で延焼を遮断する方法は考えられる。地区計画で、建替えの際に耐火性の高い建物へ建替えることを定めるなど。(市)
- ・公共施設も活用して防災機能を充実させる。公共ももう少しがんばってほしい。
- 県営住宅に防災倉庫を設置して災害時の拠点として機能させられると良い。
- ・災害時には消火栓が使用できなくなることも想定されるため、落合公園の整備とあわせて防火水槽を設置したい。
- ・特に高齢者は、桜町小学校への避難が難しいため、身近な場所で災害時の避難場所を確保する必要がある。
- 浄水場の敷地は高台にあり、災害時にはなにかしらの拠点として機能させたい。広場部分を避難スペースにできないか。また、人員を配置できないか。
- 災害時は地区への水源を確保するだけでなく、指定給水所へ水を届ける拠点などとなり、安全な水を確保する必要があることから、避難スペースとして活用することは難しい。(市)
- 避難スペースが難しいのであれば、防災倉庫を配置し、災害時の拠点とすることは考えられないか。市でカギを管理するなど。

その他

- ・将来を見越した計画づくりが重要である。
- ・水害なども多いため、地歴、地形を考慮した計画づくりが必要。
- ・まちづくりを進めて行く上で、庁内関係課との連携が必要。来年度以降の協議会の場にはぜひ出席してほしい。

道路ネットワーク(検討案)

